

洞爺湖町議会令和 7 年 9 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
7 番 大 屋 治	1. 安心・安全なまちづくりについて	(1) 災害に強いまちづくり ①保育児童の避難など津波災害に大過なく対処出来たと思いますが課題は何ですか ②複合施設が開設できるまでの間、本町保育所児童を入江保育所で保育することは出来ないのですか	①
8 番 大久保 富士子	1. 防災対策について 2. ファミリーサポート事業について	(1) 7 月 30 日の「ロシア・カムチャッカ半島」付近で発生した地震による、津波警報時の町の対応について伺います。 ①避難指示により当町での避難所開設、避難した地域、避難者数等について伺います。 ②福祉避難所開設にあたっての対応について伺います。 ③避難所に避難された方への情報提供について伺います。 ④前回の有珠山噴火から 25 年が経過し、その当時の災害を経験された職員も少なくなり、さらに町職員の全体数も減っていることなどから、今後の避難所運営等に支障が生じるのではないかと懸念していますが、その対策についての町の考え方を伺います。 (2) 今回の様な災害で避難指示が発令された場合、自主防災組織の役割が非常に重要になってくると思われます。現時点における自主防災組織の設置状況及び次期有珠山噴火に備えての課題などについて伺います。 (1) 地域支え合い支援が重要視されている中、子育て支援等におけるファミリーサポート事業の進捗状況について伺います。 ①ファミリーサポート事業の実施の予定について伺います。 ②この事業の目的及び内容について伺います。また、子育て世代がこの事業の活用により、どのようなメリットが生じるのかを伺います。 ③事業の実施にあたり、住民の協力体制について伺います。	②

洞爺湖町議会令和7年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6 番 室 田 崇 行	1. 水辺空間を活かした、まちづくりについて 2. 虻田地区の振興策について	(1) 温泉地区における遊歩道沿いの空間の活用は有効かと考えるが、町の考えは。 (2) 珍小島公園の水辺環境の整備について町の考えは。 (3) とうや水の駅を中心とした水辺空間の活用は有効かと考えるが、町の考えは。 (4) 地域活性化とブランド力向上のためにも「かわまちづくり計画」の策定が必要かと考えるが、町の考えは。 (1) 地域の顔である洞爺駅前の更なる活性化は必要かと考えるが、町の考えは。 (2) 洞爺駅前を起点とした人の流れを生む、情報発信や交流をする拠点は必要かと考えるが、町の考えは。	③
4 番 五十嵐 篤 雄	1. 課題の解決と大学との連携協定について	(1) 室蘭工業大学との連携について ①空き家の実態調査を依頼し調査対象空き家を500戸としているが、何を根拠に把握しているのか。なぜ大学に依頼したのか。 ②調査結果はいつ頃どのような形で公表されるのか。 ③結果を受けて空き家対策計画に対し具体的にどう反映されるのか。 (2) 北海道科学大学との地域包括連携協定について ①地域社会の発展と人材育成及び学術の振興に寄与することを目的としているが、当町のどの課題について解決に向けて提言を求めるのか。 ②人材育成や教育学術に関して規模や期間はどのようなのか。また、当町として大学に対して拠点の提供などの考えがあるのか。 (3) 酪農学園大学との地域総合交流協定について ①2009年に協定の締結をして15年が経過するが現在も継続中なのか、期限を設けなくていいのか。 ②外来種のウチダザリガニや中島のエゾシカの対応にも多大な役割を果たされているが、現況は。また、町として今後どのように進めていくのか。 ③旧成香小学校のサテライトキャンパスの活用状況は。	④

洞爺湖町議会令和7年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
3 番 千 葉 薫	1. 災害に強い安心なまちづくりについて 2. 地域生活支援事業について	(1) カムチャッカ半島沖震源の地震による町の対応について、どのような総括をしているのか。 (2) 避難訓練は実際に役立っていたのか。 (3) 今後の課題等が明らかになってきたと思うが、地域とのコミュニケーションは地域担当職員が今以上に深く関わるべきと思うが。(災害において) (4) 避難施設になる体育館にクーラーがなくて殊に宿泊などは大変だと感じたが、今後考えていくべきと思うが。 (1) 日常生活用具給付事業では、重度の障がい者（児）に対し、生活用品を給付しているが、どのくらいの方が利用されているのか、またその認定の仕方は。 (2) 町単独での支援という考え方は (3) 日中一時支援事業について利用者も少なく良い制度だと思うが、周知が足りないのではないか。	⑤
10 番 石 川 諭	1. 洞爺湖町において米の減反政策により10年前と比べてどれ程減反したか 2. 市町村職員の社会保険料について	(1) 虻田・洞爺、地区別の農家戸数及び水稲作付面積について伺う。 (2) 水稲作付面積が減少した要因は何か。また、転作作物としてどのような作物が栽培されたか。 (3) 今後、水稲の作付面積を増加することは可能か。増加することが難しいのであれば何が問題になるのか伺う。 (4) 今後の洞爺湖町の米生産に対する方針について伺う。 (1) 洞爺湖町職員の社会保険料負担金の詳細について伺う。	⑥

洞爺湖町議会令和7年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
11番 板垣正人	1. 災害対策について 2. 町有地の売却について 3. 自治体ファンドについて	(1) 有珠山噴火・津波・地震等、大きな被害が想定された場合、町として災害対策本部を設置するが、その本部と議会の関係について伺う。 (2) 災害対策本部に議会の代表（数名）も参加し、情報等共有すべきと思うが町の考えは。 (1) これから売却予定である洞爺地区の土地売却の方法や住民対応と公募型プロポーザルについて伺う。 (2) それに伴う検討委員会の人選・人数・検討内容等を伺う。 (1) 自治体ファンドについて町の見解を伺う。	⑦
5番 今野幸子	1. 7月30日津波の避難対応について	(1) 災害時における避難所での避難者全体の把握を含め、中心となって指示するまとめ役について伺います。 (2) 今回の災害時において、避難行動要支援者等の個別計画がスムーズに行われたかについて伺います。 (3) 一番初めの町公式LINEでは、避難発令地区が載っていなかったが、その点について伺います。また、津波到達時間や潮位変動などの情報を、逐次住民に提供すべきでは。 (4) 避難所になる施設の設置備品（椅子・テーブル・マット・常備品）は、常時利用可能な状況となっているか伺います。また飲料・食料・毛布やダンボールベッドなどの物資の配送状況について伺います。 (5) 夜間での避難指示の解除について、検討がされているか伺います。 (6) 今回の津波警報は事前地震もなかったことから、テレビも見えていない方や、避難指示の防災無線も聞こえなかった方がいましたが、そのような方々への対応について伺います。 (7) 今回の避難されなかった方、警報解除前に帰宅された方も多くいましたが、津波の危険性を十分に認識してもらう必要があると考えます。また、今回の避難地区の対象者4250人で、内避難者数575人であり、実際に避難されなかった方の所在の把握がなされているか伺います。	⑧

洞爺湖町議会令和7年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
	2. 洞爺湖町のプールについて	(8) 指定された避難所以外の虻田神社や高砂団地等に避難された方がいるが、その場所には水も食べ物等もなく、止むを得ず帰宅された方々の対策について伺います。 (9) 車での避難を可能とするルールづくりについて伺います。 (10) 交流センターの廃止、虻田中学校の移転による小学校の空教室数の減少など、今後の避難所の在り方についてどのように考えているか伺います。 (11) 健康を害することのない、きめ細かな見守りが必要と思われるが、その対応について伺います。また、長期の避難となった場合の対応について伺います。 (1) 洞爺湖町の2つのプールの廃止の記事が新聞等で掲載されていたが、その件について伺います。 (2) 今回の故障した設備の補修状況について伺います。浄化ポンプも古くなっており、以前の議会での答弁において、今後の状況を見ながら、必要なメンテナンスを進めるとの回答であったが、その後のメンテナンスの実施状況について伺います。 (3) 子ども達の健康面や運動能力の向上の為に、プール等の社会体育施設が必要と考えます。子ども達の減少に合わせて、社会体育施設を減らすということはあってはならないと思われます。まずは施設を縮小する前に、少子化を止めることに力を入れるべきと思いますが、その考え方及びプールを廃止した場合のメリット、デメリットについて伺います。	

洞爺湖町議会令和7年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
2 番 小 林 真奈美	1. 令和6年度教育委員会の点検・評価と休日の部活動の地域移行について 2. 宿泊税条例の制定について 3. ライドシェア実証実験運行について	(1) GIGA スクール構想の推進に係って、ICT を活用した教育の推進を図る取組の成果と課題について伺う。 (2) 働き方改革の推進に係って、教職員の時間外勤務の短縮状況について伺う。 (3) 学校施設の整備に係って、各学校の空調設備の整備状況と虻田中学校の校舎移転の進捗状況について伺う。 (4) 学校給食の充実に係って、給食費無償化も含め、給食費の定額補助の今後の方向性について伺う。また、虻田給食センターの業務委託に係って取組状況と課題について伺う。 (5) 休日の部活動の地域移行の取組に係って、今年度の取組状況について伺う。 (1) 宿泊税の使途に係って、財源確保としてどれだけの規模の税が必要なのか、具体的にどのような事業を考えているのか伺う。 (2) 宿泊税額の根拠とその徴収方法、導入に合わせた入湯税の取り扱いの変更について伺う。 (3) 観光以外を目的とする宿泊者からの徴収について伺う。 (4) 新たな税を課すことについての町民や関係者の納得や合意形成を図るプロセスと導入の判断について伺う。 (1) 「洞爺湖版ライドシェア運行検討部会」の開催状況と出された意見等について伺う。 (2) 実証実験期間中の運賃収入根拠について伺う。 (3) 実証実験スタートにあたり、ドライバーと利用者の安全対策の具体について伺う。 (4) 安全な運行のためのドライバーの研修や健康管理の具体について伺う。 (5) 実証実験結果の評価方法について伺う。	⑨

洞爺湖町議会令和 7 年 9 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
9 番 越前谷 邦 夫	1. 洞爺湖町総合成長戦略について 2. 津波対策について	(1) 急速な高齢化で社会保障関係の費用は増大し、財政は今後ますます圧迫される。地方交付税、税収入の減額も想定される。限られた財源をどこへ配分するかが問われる。住民に対して財政状況を正確に知らせ、丁寧に合意形成することが肝要である。義務的経費に加え公共施設維持などの負担も大きい。行政にまず求められるのは、住民とまちの将来像を共有することである。その実現に向け広域行政の推進、優先する事業や施策を決め、場合によっては縮小、廃止等一貫した方針の下でまちづくりを進めることが肝要となる。残り少ない今期であるが、どんな将来像を描いているのか、目に見える改革案等その政治姿勢、基本理念を問う。 (2) 人口減少、少子高齢化社会が激進している状況にある。将来を見据え、人生 100 年時代を障がい者と健常者が安心・安全に生活出来る、地域共生社会を創造するにはどんな手法が必要か芯を問う。 (3) 高齢世帯、独居世帯が激進している。孤独死等が社会通念、大きな課題となっている。どんな対策が求められるか、その手法を問う。 (4) 医療費の抑止に繋がる事業の推進と改革案として各施設の使用料の見直しと生きがいを感じる事業の推進と拡充策を問う。 (1) ロシア極東カムチャッカ半島沖で巨大地震が発生し、北海道内で 2011 年 3 月の東日本大震災以降初めて津波警報が発表され洞爺湖町においても避難を余儀なくされた。自治体としての教訓・課題について問う。	⑩

